

公明党

県議団ニュース | 2009 October 38

県政に関する
ご意見・ご要望を
お寄せください。

埼玉県議会公明党議員団

TEL 048-822-9606
FAX 048-822-9408

公明党議員団ホームページ
<http://www.komei-saitama.com>

さいたま市浦和区高砂3-15-1

知事に22年度予算要望 早期実現求める!



予算要望書を知事に手渡す公明党県議団

埼玉県議会公明党議員団は、9月定例会最終日の10月15日、上田清司知事に22年度予算要望書を提出しました。予算要望は景気・経済対策や雇用対策など不況に伴う喫緊の課題に加え、福祉や医療など県民生活に直結する事業など205項目にわたり、その早期実現を訴えました。

9月定例会

ハッ場ダムなど
重要課題で論戦!

埼玉県議会9月定例会が15月15日に閉会しました。総額380億円の補正予算やハッ場ダムなど県政の重要課題について審議が行われ、公明党からは福永信之議員、塩野正行議員が本会議で一般質問に立ったほか、公明党議員は委員会審議などで活発に質疑・意見提案を行いました。

今定例会の一般質問では、ハッ場ダム建設中止問題に質問が集中しましたが、とりわけ福永議員はハッ場ダム建設中止方針の撤回実現に向けた知事の取り組みについて徹底的に質問しました。地元住民や関係する1都5県の声も聞かずに一方的に中止を決めた



塩野 正行 議員



福永 信之 議員

ことに対して、民主主義のルールを無視するものと厳しく訴えました。

これに対し、知事も「ハッ場ダムは県民に安定的に水を供給することにも、利根川の洪水を防ぐために必要なダム」であり、「補償措置や代替案などを示すことなく、大臣が中止するという考え方を変えるつもりはないと発言されたことは大変無責任」と応じました。

塩野議員も最初にハッ場ダムについて知事の認識を質したのに対し、知事からは「生活再建を目指す地元の町や関係都県が主体的に決める話であり、国はそれを尊重するというのが真の意味での民主主義であり地域主権だ」との答弁がありました。

この他、新政権の景気・経済対策、セーフティネットの拡充、自殺予防対策、埼玉高速鉄道、がん対策、薬物問題などについても質問。特に、切れない景気・経済対策が求められる現状や離職者の生活支援などセーフティネットの構築が不可欠であることなどを訴えました。